

お気軽にご連絡ください！  
三条をご案内します！

ある日、移住支援係の電話が鳴りました。電話の主は北海道出身の大桃さん。三条市に興味を持ってくれ、まずは一度行ってみたいとのことでした。移住支援係としては腕の見せ所！本人の希望も聞きながら、オススメスポットへご案内しました！その時の様子をちょっとだけご紹介！

09:00 燕三条駅 お出迎え

09:30 パン屋巡り

「パンが大好きなので美味しいパン屋を教えてください。」とのリクエストにお応えしました。

10:00 クラフトフェア 見学

たまたま全国的に有名なイベントが三条市で開催していたので見学。

工場巡り「マルナオオープンファクトリー」

工場巡り「SUWADAオープンファクトリー」

「モノづくりが好きです。代表的な工場の見学がしたいです。」とのリクエストにお応えしました。

道中、下田地域の自然を堪能

13:00 道の駅漢学の里ただ 昼食&笹団子購入

「おいしいお米と山菜が食べたい。笹団子を買いたいです。」とのリクエストにお応えしました。食べる事が大好きな大桃さん。目がキラキラしてました。

14:30 北五百川の棚田

下田地域の絶景オススメスポット！  
「なぜ三条に興味をもったのか？」などの話に花が咲きました。

15:45 大崎山公園

「市内を一望したい。」とのリクエストにお応えしました。

16:15 パン屋巡り

16:40 まちなか探索

えんがわ、八幡宮、赤壁小路、  
燕三条トライク、カフェトウジュール、  
HOLIDAY、みんくる ほか

「まちあるきをしたい。」とのリクエストにお応えしました。  
「小路がたくさんあり、びっくりです。」とのこと。

18:30 お見送り

「訪れた先々で、いろいろな世代の方から話を聞くことができました。気さくな方ばかりで楽しかったです。今度はバイクに乗ってきます！」と来条を約束してくれました。



私たちが支援を  
案内します！

三条市定住ネット

[www.sanjo-iju.jp](http://www.sanjo-iju.jp)



フェイスブックページ「三条市で暮らす。」

[www.facebook.com/sanjo.iju](http://www.facebook.com/sanjo.iju)



三条市経済部営業戦略室移住支援係  
〒955-8686 新潟県三条市旭町二丁目3番1号  
TEL:0256-34-5606 FAX:0256-36-5111

ものづくりのまち三条市。ほどよく田舎の生活を少しだけご紹介します。

ほどよく  
田舎。  
三条で暮らす。

首都圏も  
意外と近いですよ！

先輩住民に聞く、三条での暮らし。

個人年表 / 私の必需品

¥0  
TAKEFREE  
2016.  
September  
Vol.01

# 移住を考えているあなたへ.

三条市は新潟県の「まんなか」、県央地域と呼ばれる所にあります。

他の自治体同様、三条市に住んでほしい!と思っています。しかし、移住希望者にとってどこに移住するかはとても重要で、その理由も様々ですから、安易な押し売りはできません。

ただ、実際に生活をしている私たちの生の声を聞いてもらえたら、少しでも三条市の良さを伝えられるんじゃないかと信じています。三条市に魅かれてやってきた人。戻ってきた人。ずっといた人。いろんなお話を聞いてきましたので紹介します。

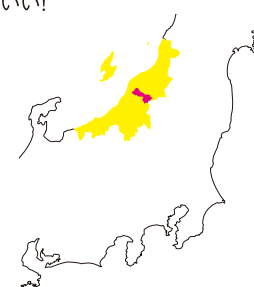
ほどよく田舎で暮らしやすい、そんな三条市を感じてもらえたらと思います。

ほどよく田舎。  
三条で暮らす。

三条市も  
カンタンに説明すると、

刃物等金属製品の加工が盛んな、ものづくりのまちとして栄えてきました。工場こうばが所々にあり、職人もたくさんいます。大自然に囲まれた広大な地域もあります。お祭りやみんなで作り上げるイベントもいっぱいあります。

ほどよく田舎、生活するのにちょうどいい!





CASE 01

土地に根付いた、日々の生活。

肌で感じる季節の変化。

春が好きになりました！

樋口 あいさん  
Ai Higuchi

出身地 / 福岡県太宰府市  
年齢 / 39歳  
職業 / パート(リラクゼーションサロン)  
家族構成 / 夫、子(長男、長女)  
移住年数 / 9年目



個人年表

- 0歳 ● 福岡県太宰府市で生まれる
- 25歳 ● 東京へ
- 29歳 ● 結婚、三条へ
- 31歳 ● 第一子誕生
- 32歳 ● 第二子誕生
- 39歳 ● 現在に至る

主人と東京に住んでいた時、「自分たちも地に足の着いた生活をしなきゃな」って話していた。そんな時、主人のご両親が「三条においで」と言ってくれました。直感に従って三条に来ました(笑)。三条に来てからは夫婦で職業支援を受けて、それを活かした仕事をしています。主人はCADを勉強し、そのままCADの設計の仕事をしています。私は、ワードとエクセルを教わって事務的なお仕事をしています。

都会では気候も一定だし、便利だし。何も感じなく過ごしていたように思います。「この土地に住む」という厳しさや覚悟を三条市で知りました。冬は、「雪すごいな。明日ちゃんと出かけられるかな?」って夜から気になっ



ちゃいますから(笑)。でも、その分、梅の花が一個咲いただけでも、「えー!春が来てる!」って春の喜びを感じます。自然の恩恵を受けるというか、「自然とともに生きる。」ってこういうことなんだなって。

三条市の行事や施策とかにも興味が出てきました。子育ても独りでやってる感じがなくて、全員で育ててる感じがします。私の子どもたちも地域の子どもたちもみんな大好きって思います(笑)。

風土に適した文化があって、それにくっついたお祭りがあって、それに参加して…。自分に主体性が出てきたと思います。今は「三条市の一員になった!」って感じるんです(笑)。本当に、今三条が好きですね!今までで一番楽しく生活しています!

Q 三条市民の特徴は?

A 女性が働き者、気配りができる人が多い。芯が強いと感じることが多く、励まされることが多いです。

Q 三条市へ移住する人はどんな人がおすすめ?

A 自分から輪を広げていく人、アプローチしていける人。心を開いて自分で向かえる人におすすめです。

Q 三条市のおすすめスポットは?

A 大崎地区周辺の青と緑が混ざったような、田植え後の風景。自宅近くの土手。花火を見たり子どもと歩いたり。日常に馴染んだ風景。

Q 三条市に移住する人へアドバイスを。

A 地元で馴染もうと無理をせずに、自分らしく三条の暮らしを楽しんでほしいですね。

ワタシの必需品



「レッグウォーマー」  
福岡県出身の私にとって  
三条の冬は寒すぎずです(笑)

※1【人材育成支援制度】「人材育成研修受講料補助金」…三条市では、市内に事業所を有する会社又は個人の方で、中小企業大学校三条校または、燕三条地場産業振興センターにおいて行う研修を受講され、修了した場合にその受講料の一部を助成している。「教育訓練給付金制度」…ハローワーク等も、働く人の主体的な能力開発の取組を支援している。

※2【三条市の行事】三条市のイベントとの代表格と言え「三条マルシェ」。中心市街地を歩行者天国にして、グリーンに統一されたテントがずらりと並び、おいしいものや楽しいものが、盛りだくさんの「市場」のこと。伝統の定期市と三条マルシェのコラボ開催もあり、樋口さんはその常連出店者。



## CASE 02 U<sub>3</sub>

# 農業で地元を盛り上げる。

自然の恵みもいっぱい。

めいじの農業を

内山 徳寿 さん  
Norihisa Uchiyama

出身地 / 新潟県三条市  
年齢 / 39歳  
職業 / 農家  
家族構成 / 両親、妻、子(長女・6歳、双子の息子・1歳)



### 個人年表

- 0歳 ● 三条市で生まれる
- 18歳 ● 高校卒
- 19歳 ● 就職で佐波へ
- 20歳 ● 新潟市の調理師専門学校へ入学
- 21歳 ● 三条市の食品卸会社へ就職
- 22歳 ● 農業の世界へ
- 39歳 ● 現在に至る



Q 三条市民の特徴は？

A 旧三条市民は我が強い。群れない。旧栄町民は温厚。旧下田村民は内向的。

Q 三条市のおすすめスポットは？

A しらさぎ森林公園。大型直売所のただいまーと。内山農園の小松菜、ジェラード、パスタなどが買えます！

Q 三条市に移住する人へアドバイスを。

A 栄地域がおすすめ!!海・山・川がどれも近い!何かあったら内山農園へ!

22歳の時に家業でもある農業の世界に入りました。それまでは別の仕事をしていましたが、兄が農家を継がないみたいで、当時まだ高校生の弟に選択させるのも酷だと思い、私が継ぎました。

子供の頃から、苗運びなどの仕事を手伝っていたし、軽い気持ちで農業を始めました(笑)。親が引退するから継ぐのではなかったし、まだ祖父も元気で、両親と自分の3人がメインで一緒に農業やるのだから、いいかなって。農業をやっているのは、家業だからですね。家を背負うという意識がない若い頃で、「集落」・「地域のしがらみ」などが分かりませんでした。今は失敗したなあと思うこともありますよ(笑)。



せっかくやるからには、燕三条で一番の農家になりたい。有名になりたいという思いもあります。農業が持つ「過酷」だとか、「儲からない」ってイメージも変えたくて。だから作業着じゃなくてこんな服着て農業してます(笑)。家業だって会社組織にして、ちゃんと休みが取れるような環境にして行きたいですね。

若い世代の農家にもっと盛り上がってほしいですね。今まで通りお米作って終わりじゃなくて。だからイタリア野菜研究会<sup>※1</sup>を立ち上げて新しい挑戦もしたり。

若い人が憧れる存在になりたいんですよ。そうじゃないと農業が廃れてしまうので。もし農業を始めたい人がいたら、一度うちへ来てもらいたいですね(笑)。

※1【燕三条イタリア野菜研究会】新潟・燕三条の若手農家たちが従来の感覚にとらわれない新しい発想で「今、求められている食材は何か?」「今、自分たちが本当に作りたい食材は何か?」を、常に楽しみながら真摯に取り組むという信念のもと、その柔軟なスタイルと若さゆえの行動力で邁進する、まるでイタリア人のような陽気で明るい集団。  
※2【三条市青年就農者育成等支援事業】生活に必要な所得を確保できる農業者を育成するため、青年就農希望者に対して先進農業者の下での長期派遣研修等を実施している。



CASE 03 U<sub>3</sub>  
ものづくりのまちで  
地道に技術を磨く。

面倒臭い  
良い人が  
たくさん。

地元  
の工場  
勤務  
16年。

梨本 正也 さん  
Masaya Nashimoto

出身地 / 新潟県三条市  
年齢 / 37歳  
職業 / 会社員(田辺プレス株式会社)  
家族構成 / 妻、子(2か月)



個人年表

- 0歳 ● 三条市で生まれる
- 18歳 ● 工業高校卒、声優をめざし東京へ
- 22歳 ● 三条へ帰郷、田辺プレス入社
- 36歳 ● 結婚
- 37歳 ● 第一子誕生、現在に至る

高校を卒業してから声優を目指して上京しました。養成所等にも行きましたが、やはり自分の好きな車いじりがしたくて三条に帰ってきました。

帰ってきてからすぐハローワークに行きました。募集はたくさんあるんですよ、未経験者可って。今の会社に電話をしたら、すぐに面接が決まって4・5日後には勤めてました。職人肌というか、わからないことがあったら聞け!やってみろ!習うより慣れろ!ですね。ここの金子新田工業団地は大きな機械を扱ったりする会社が多いので、女性が少なくあまり出会いはありません(笑)。でもある日、取引先の社長から「お前、結婚する気あるか?」と言われ、「あります。」と答え



たら、その週の金曜日に紹介され、意気投合(笑)。ダラダラ付き合うのは性にあわなかったし、相手もそういうタイプだったので半年で結婚しました。本当に縁があったなって。あの時、言われてなかったらまだ独り身だったと思います。面倒臭い人が多くて、そういう人たちに支えられています!

今は休日は子ども三昧です(笑)。「あそぼって」<sup>※3</sup>にも行ってみたいですね。独身の頃は、車をしょっちゅう洗車してたんですけどね。

これからは一歩でも半歩でもいいから、進歩して行きたいですね。仕事のことも、男としても!仕事もとことん挑戦できる環境で恵まれているので、今度は育児の方もがんばらなきゃですね(笑)。

Q 三条市の好きなところは?

A 車さえあれば移動が楽なところ。どこでも行けるし、勝手がいいですね。

Q 三条市民の特徴は?

A 意外とフレンドリー。新しいものが好きなのか、都会の流行に乗るんだけど…ワテンポゆったりしている感じ。

Q 三条市へ移住する人はどんな人がおすすめ?

A ものづくり目当てで来るなら、輪を広げられるような人がいいと思います。

Q 三条市に移住する人へアドバイスを。

A 忍耐!!雪も含めていろんな意味での忍耐です!

ワテンの必需品



「スケール」「のぎす」  
仕事柄、精密に測る事が大事です。

※1【有効求人倍率】平成28年6月現在、三条市の有効求人倍率は1.40(パート含む)であり、県や全国と比べても高い。ちなみに新潟県平均は1.33、全国平均は1.37。(ハローワーク三条「雇用統計8月号」)

※2【工業団地】三条市は14の工業団地があり、240社以上が入居している。主な業種は利器工器具、作業工具、鍛造品製造等の金属製品製造業。

※3【あそぼって】平成28年4月にオープンした子育て拠点施設。乳幼児が遊べるプレールームや授乳室などを備え、土・日・祝に子どもを一時的に預かる休日一時保育や様々な子育て講座を実施している。三条市は子育て施策が充実しており、「すまいるランド」という子育て拠点施設もある。



## CASE 04 U<sup>3</sup>

# 仕事だけではない 地域との関わり。

投げれば  
何か必ず  
返ってくる。



長野 源世 さん  
Gense Nagano

出身地 / 新潟県三条市  
年齢 / 48歳  
職業 / 会社員役員  
(長野工業株式会社)  
家族構成 / 妻、子(長男、次男)、母

和太鼓を  
教えています。

### 個人年表

- 0歳 ● 三条市で生まれる
- 18歳 ● 高校卒
- 20歳 ● 東京の広告代理店  
関連会社で勤務
- 26歳 ● 三条へ戻り、家業へ  
長野工業に勤務
- 30歳 ● 新たなプロジェクトに  
関わることになり、  
再び東京へ
- 36歳 ● 7.13水害を機に  
三条へ戻ってくる
- 48歳 ● 現在に至る



「メジャー」「のぎす」  
「カッター」  
これが無いと仕事が  
始まりません!

- Q 三条市民の特徴は?  
A ウィンカー出しても入れてくれない(笑)。  
よくしゃべるし、新しいヒト、新しいモノには興味深々!
- Q 三条市へ移住する人はどんな人がおすすめ?  
A モノとコトに興味の深い人。溶け込みやすいと思います。  
※「モノ」=世に出ている様々な製品。またはプロダクト製品。  
「コト」=ものづくり。環境づくり。
- Q 三条市のおすすめスポットは?  
A 「えんがわ周辺」と「まんなか」。水害前の田島の風景は良かったなあ。  
あと、大崎山から見るチープな夜景もいいですよ(笑)。
- Q 三条市に移住する人へアドバイスを。  
A 積極的に話かけてみてください。面白いものが返ってくると思います。

7.13水害<sup>※1</sup>で実家の会社が大きな被害を受けました。その時は東京で働いていましたが、後片付けなど復興の為に三条へ帰ってきて、そのまま会社に入り今に至ります。

三条の職人さんと話をすると、いいかげんなアイデアがたくさん出てきます(笑)。できることも、できないことも。役に立たないものも。口(発言)のトライとモノづくりのトライはしますね(笑)。あとは見栄っ張りな人が多いかも。人のやったことを自分のやったことのように…。せっかちでもあり、でもそれが、憎らしくなく可愛げがあって“愛しげ”=いとしげ(三条弁)なんです(笑)。

「こうしたらいいのに」って、出会った人に話すと実現しやすいんです。「これやろう!」と言うと、みんな一度は面倒くさ



がるんですよ。で、文句を言う(笑)。でもその文句は挨拶みたいなもので、ちゃんと手伝ってくれる。結局、面倒見がいいんですよ。「おれが作ろうか」と言う人に出会えます。

今は地域のコミュニティづくりに関心があって、地域コーディネーターの仕事もしています。「ものづくりのまち」としての価値を絡めた「新しいコミュニティづくり」にも取り組みたいと思っています。

休みの日は三小相承会という和太鼓集団の活動もしています。約25年の時を経て、当時の音を復刻すべく立ち上げた集団で、三条小学校の4~6年生に指導しています。時を経て教える側になりましたが重要なものは周りの世代にも伝えていきたいですね。

※1【7.13水害】平成16年7月13日に、新潟県中越地区を中心に大規模な集中豪雨が襲い、市内を流れる五十嵐川が破堤し市街地が浸水し、死者9名、被害棟数10,935棟という甚大な被害を受けた。この水害を教訓に、国、県による抜本的な河川改修のほか、三条市は様々な防災対策を実施し、災害に強いまちづくりに取り組んでいる。

※2【地域コーディネーター】壁が無く開放的な空間であり、誰もが使用できる公共施設「ステーションがわ」を拠点に、人が集うイベントや仕掛けを提案し、ヒト・コト・マチをつなぐ地域のコミュニティづくりに取り組む仕事。

CASE 05 U<sub>3</sub>

好きになるために  
行動する。



育てくれた  
土地だから。

が産まれた場所。  
が産まれた場所。

**石本 史子 さん**  
Fumiko Ishimoto

出身地／新潟県三条市  
年齢／37歳  
職業／マネージャー  
(一般社団法人マドンナ・ワークス)  
家族構成／夫、子(長女、妊娠7か月)、両親

個人年表

- 0歳 ● 三条市で生まれる
- 18歳 ● 高校卒→東京の大学入学
- 22歳 ● イタリア食材の専門商社に勤務。
- 24歳 ● 新潟県立万代島美術館勤務
- 26歳 ● イタリア留学
- 27歳 ● 帰国、新潟市の雑貨店、北陸地方整備局に勤務
- 30歳 ● 燕三条地場産業振興センターの両国・町田店に勤務
- 31歳 ● 三条へ戻り、燕三条FMに勤務、結婚
- 33歳 ● みんくるに勤務
- 37歳 ● 「マドンナ・ワークス」設立、現在に至る

イタリア留学してわかったんですけど、イタリア人は自分の生まれ育った土地が大好きなんです。面白いことに、イタリアワイン用のブドウ品種は生まれた土地でしか育たないんです。それが「人」も同じような気がして…。地元だから活かされるっていう感覚がありました。その風土にとっても影響を受けましたね。それに、いつまでも親も私も若くない(笑)、というのも帰ってきた大きな理由の一つです。あとは、人材も資源だと思ったんです。地域に投資してもらって育ったわけだから、その能力を県外で発揮したら、もったいないって思いました。東京には優秀な人間は腐るほどいるから(笑)、私は田舎で頑張って、投資してもらったものを返そうと思いました。

実は三条という土地が好きではないんです(笑)。だからこそ、もっと自分が楽しくて住み心地がいいまちにしたい



なって。好きじゃないって文句だけを言うより、行動するタイプです。

みんくるは、今まで商店街組合の一部として運営してきたのですが、今後の活動をより充実したものにするために、「一般社団法人マドンナ・ワークス<sup>※2</sup>(以下、MW)」として独立しました。男性に比べて、女性の生き方は結婚や出産、育児、介護など一様ではありません。その中でMWはいかに一人の人間として働き続け、キャリアを積んでいけるかという社会的な課題に取り組んでいます。そうすることで、地元を離れた女性たちが戻ってこれるきっかけにもなれると信じています。都会で頑張るばかりがいいとは思っていません。田舎は、結婚し、子を育てるという営みにとって、プライスレスなものがたくさんありますよ。

- Q** 三条市民の特徴は?  
**A** 主体性がないかな(笑)。自分で考えることが下手に感じます。社長さん達はまったくそんなことはないですが。
- Q** 休日は何してる?  
**A** インドア派なんで、家で勉強をしたり、ずーっと何かを調べたり。でも今は家事・育児に追われています。
- Q** 三条市のおすすめスポットは?  
**A** やっぱり「みんくる」ですかね。あとは、地元の顔なじみのお店に行きます。カフェトウジュールさんとか。みんくるの過去の出店者、nijimuさんとか。

ワタシ<sup>※1</sup>の必需品

「ベビーキャリア」  
おんぶしたまま  
デスクワークもします!

※1【みんくる】みんなのまちの交流拠点施設。様々な世代の方が交流し、その輪を広げられる場所。また、将来開業を目指す方の夢を叶えるステップとして、飲食店・物販・委託販売用の棚などのチャレンジショップや、各種習い事教室、女性のワークシェアなどの場を提供している。この他にも三条市は、三条市中心市街地空室家改修事業等補助金、創業塾pontekia、体験出店、創業後のフォローなど創業支援制度が大変充実している。  
※2【一般社団法人マドンナ・ワークス】平成28年4月設立。「ママが笑顔で過ごせること」「お互いさま精神を持ちあうこと」で男女ともに働き、産み育てやすい暮らしを目指している。現在、スタッフ全員が子育て奮闘中!



# CASE 06 三條の魅力を開拓中。

## 息抜きだって 充実してます！



佐藤 稔希 さん  
Toshiki Satoh

出身地／山形県三川町  
年齢／28歳  
職業／三条市職員  
(市民部環境課ごみ減量係)  
家族構成／单身  
(三川町に祖父母、両親、弟)  
移住年数／1年目

### 個人年表

- 0歳 ● 山形県三川町で生まれる
- 18歳 ● 高校卒→新潟大学法学部入学
- 24歳 ● ウオロク入社 柏崎店へ配属(鮮魚部門)
- 27歳 ● 松浜店へ異動(鮮魚部門)
- 28歳 ● 三条市入庁、現在に至る



「家計簿」  
一人暮らしなのでちゃんと管理してます！

- Q 三条市の好きなのところは？  
A 「食」については満足です。自分で料理はします。実は野菜もたくさんあるなあ。
- Q 三条市民の特徴は？  
A 地元山形と比べると…主張が強いですね(笑)自分の意見をはっきり言います。食い下がってくる人もまれにいます。でも、面倒見がいい人が多いです。
- Q 三条市へ移住する人はどんな人がおすすめ？  
A 目的がある人がいいと思います。利便性を抜きにして自然と一緒に暮らしたいなら、下田地域<sup>※1</sup>に住むと良いと思います。
- Q 三条市に移住する人へアドバイスを。  
A 個性的な人がいるので、ビックリするかも。少し言葉は荒いけど根はいい人ばかりです。

私は三条市職員に合格して三条に来ました。もともと公務員にはなりたかったんです。受験は知人のおじさんに進められました。

休日、と言っても仕事関係ばかりですね(笑)。月に何回か土曜日当番もあるので。ここ最近<sup>※2</sup>は、「大名行列」「風合戦<sup>※3</sup>」とか三条市の行事にはほとんど出ています。呼ばれたところに行っています。

週2、3回で飲みに行っています。お酒は好きですね。仕事の延長もあるし、誘われていくのもあるし、誘うこともあるし。交際費がハンパないです(笑)。県央に行ったり、本寺小路<sup>※4</sup>によく行きます。サラリーマンが飲んでという雰囲気が好きで。新潟市の飲み屋はマニュアル化されてる



店が多いけども、三条市の飲み屋は個性が出る店が多いです。行きつけの店をたくさん作りたいですね。だから飲み屋開拓中です。誘われれば断りません(笑)。最近の人は付き合い悪って言われますけど、私は断りません!(笑) 大学で新潟に来ましたが、山形に戻ろうとは思わなかったです。食べるのが好きで、新潟の食べ物や酒が美味しいこともありますし、ほどよく田舎・ほどよく都会で住みやすかったです。県外に出る手段も新幹線・高速・空港とたくさんありますし。

これからは…正直まだわからないです。役所の仕事は、幸い周りの先輩方にとっても恵まれて、おもしろく楽しいです。三条市は良い意味で先がまだわからないので、そこもおもしろいですよね。



※1【下田地域】旧下田村のこと。三条市は平成17年5月三条市、栄町、下田村で合併をした。下田地域は、美しい山河に恵まれ、自然が豊かな観光地。「三条市の景勝地は？」との質問には、下田地域の「八木ヶ鼻」と答える人が多数いる。  
 ※2【大名行列】三条祭りは「天狗様(道祖人)」の大名行列で知られる伝統行事。毎年5月14、15日開催。大名行列後、親が、子供の無事成長を祈って肩車に乗せ、社殿の周りを走る「舞込(まいこみ)」は、多くの観光客を集める。  
 ※3【風合戦(いかがっせん)】「たこ」ではなく三条市では「いか」と読む。毎年6月の第1土日開催。約20もの風組が優勝を争い風を操る。海外にも「SANJO ROKKAKU」の名で知られ、世界の六角風の発祥の地として紹介されている。  
 ※4【本寺小路(ほんじこうじ)】「本寺小路」=「まんなか」。まちなかの飲み屋街の総称。燕三条駅でタクシーに乗り、「まんなかお願いします。」と言うと本寺小路に到着する。まんなかには多くの古い小路があり、歴史探訪まちあるきとして最適。





CASE 07

鍛冶職人になるため、  
ただいま修行中

昔ながらの  
職人気質が  
残っています。

新潟の雪は  
重いです。

眞崎 直樹 さん  
Naoki Masaki

出身地／北海道北見市  
年齢／35歳  
職業／新規鍛冶人材育成事業研修生  
家族構成／妻(千葉県出身)、  
子(長男・2歳)  
移住年数／5年目



個人年表

- 0歳 ● 北海道北見市で生まれる
- 18歳 ● 工業高校卒、地元の生コン会社に就職
- 26歳 ● バイクで日本一周の旅へ'79年式のハーレーがパートナー
- 30歳 ● 三条市へ移住、新規鍛冶人材育成事業研修生として吉金刃物製作所へ
- 35歳 ● 現在に至る

移住してきて5年目ですが、初めて三条に来たのはバイクでの旅でした。日本一周するために太平洋側から周り始めましたね。反対側の日本海側に来た時に「これからの人生何をしようかな。」「打ち込める仕事がいいな。」って考え始めました。

そんな中、三条市に立ち寄って鍛冶道場で体験させてもらいました。その作業が自分に合ってる気がしました。「学ばせてくれるところはないか?」って聞いたりして、とりあえず名前と連絡先を置いていきました。その時、近所のラーメン屋さんのご主人が声をかけてくれたんです。名物のカレーラーメンを食べながらいろんな話をしました。切実な人が多いんでしょうか?



それから2、3か月後、鍛冶道場から連絡があって「新規鍛冶人材育成事業<sup>※2</sup>」で研修生を募集するから面接を受けないか?とされました。そして、今は包丁を作る工場<sup>※1</sup>で、鍛冶職人になるために修行中です。

鍛冶屋になりたいことが目的で、住みやすさを求めてこちらに来たわけではないのですが、不便さは感じていません。ちょうどいい田舎。何もなければいいし、便利すぎないし、可もなく不可もなくって感じです(笑)。

今の目標は独立して鍛冶でご飯を食べることです。北海道に帰ろうと思っていましたが、仕事をしていくうちに考えが変わりました。三条市でやっていきたいです。鍛冶の魅力を発信して、技術を繋いでいきたいです。



Q 三条市の好きなところは?

A ごはんつぶです!ごはんじゃなくて、ごはんつぶ(笑)。あとは、昔ながら...というものが生きているところです。技は盗め的な。

Q ご近所や三条市民の方の印象は?

A ご近所の方をはじめ、本当に良くしてもらっています。畑で採れた野菜とかいつもいただいて、助かっています。印象としては、あまりオープンな性格じゃないのかな? 日本海側の方は、オープンじゃない気がします。陽気ではないかな。

Q 三条市のおすすめスポットは?

A 子どもがまだ小さいので、あんまり出かけられてないですね。嫁は子どもと「すまいるランド」に行ってるようです。

※1【カレーラーメン】三条人のソウルフード。日夜仕事に明け暮れ、ゆっくり食事をとる暇もない職人たちから愛された歴史がある。雪の降る寒い日には体を温め、夏の暑い日にはスタミナ料理として食される。市内のラーメン店では、それぞれ趣向を凝らしたカレーラーメンを提供している。

※2【新規鍛冶人材育成事業】三条市は、経済産業大臣指定伝統的工芸品「越後三条打刃物」の製造を見習いとして習得しながら、将来は独立した鍛冶屋を目指す鍛冶研修生を募集している。

747の必需品

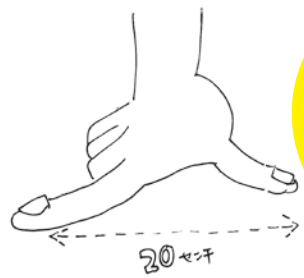


「てぬぐい」  
「ティッシュ耳栓」

まともな耳栓だと研磨する時の音の違いがわからなくなるので、「ティッシュ耳栓」がちょうどいいんです。

# 三条人って... (汗)

インタビュー中に出てきた、ついつい「三条人って...」と突っ込みを入れたいくなるエピソード。市外の人から見たらちょっと「？」と思う事。良い事も、そうでない事も全部含めて三条人です。



**身体がメジャー?**  
三条人は指を広げるなど、自分の体の一部を使って長さを計れるらしい。指を広げて、モノの厚さも触ってわかる。それがまた当たってる!



**せっかち?**  
三条人はせっかち? レジ待ちの間隔が狭い! ちょっと進んでもすぐ詰めてくる!

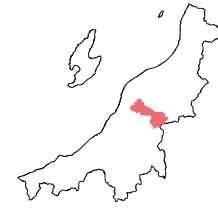


**運転が優しくない?**  
ウィンカー出しても車を入れてくれない。見えてないのかしら(涙)。そして運転が荒い(汗)。

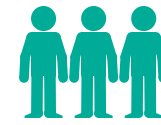


**鹿が降る?**  
「しかも降ってきた。(たくさん降ってきた)」と方言を使ったら、首都圏の友人に「新潟は雪だけじゃなくて鹿も降るの!？」と言われた(笑)。鹿は降ってきません(笑)。

# 三条市にまつわる数字



**面積:431.97km<sup>2</sup>**  
東京都の面積:2,190.90km<sup>2</sup>  
東京都の約  $\frac{1}{5}$



**人口:100,384人**  
(平成28年5月31日現在)  
東京都の人口:13,415,349人  
(平成28年1月1日現在)

平均初任給  
(大学卒)



**三条 192,000円**  
(ハローワーク三条調+H28年3月卒)  
**東京 209,600円**  
(厚生労働省 賃金構造基本統計調査+H27年)

平均家賃  
(間取り1K・16畳)



**三条 39,017円**  
(総務省 住宅・土地統計調査+H25年)  
**東京 87,109円**  
(総務省 住宅・土地統計調査+H25年)

有効求人倍率  
(パート除く)



**三条 1.25倍**  
(ハローワーク三条「雇用統計6月号」H28年6月の主な雇用動向)  
**東京 1.52倍**  
(東京労働局「求人・求職バランスシート」H28年6月分)

就業率



**三条 58.5%**  
(総務省 国勢調査+H22年)  
**東京 52.3%**  
(総務省 国勢調査+H22年)

女性就業率



**三条 49.6%**  
(総務省 国勢調査+H22年)  
**東京 43.7%**  
(総務省 国勢調査+H22年)

持家率



**三条 82.4%**  
(総務省 国勢調査+H22年)  
**東京 44.2%**  
(総務省 国勢調査+H22年)

待機児童数



**三条 0人**  
(厚生労働省調+H26年4月)  
**東京 5,666人**  
(東京都調+H26年4月)

0~4歳人口1千人あたりの保育所数



**三条 7.7カ所**  
(社会福祉施設等調査+H26年)  
**東京 4.1カ所**  
(社会福祉施設等調査+H26年)

H27年	東京都	北海道 札幌市	長野県 松本市	新潟県 十日町市	三条市
平均気温(℃)	16.4	10.0	12.7	11.8	14.1
最高気温(℃)	37.7	34.5	36.7	35.7	36.4
最低気温(℃)	-2.4	-10.1	-11.2	-8.3	-5.4

(気象庁ホームページより)



H27年	東京都	北海道 札幌市	長野県 松本市	新潟県 十日町市	三条市 (市街地)	三条市 (下田地域)
降雪量(cm)	3	367	70	1053	272	484
雪日数	11	108	59	52	51	51

(気象庁ホームページより)

